

# 令和6年度全国学力学習状況調査の結果

京都市立桃山東小学校

全国の小学校6年生を対象に実施されました「令和6年度全国学力学習状況調査」について、結果をまとめました。この調査では、学力調査（国語・算数）と児童への質問調査（学習面・生活面など）も実施されており、生活習慣と学力の関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

## 【総合結果（国語・算数）】

本校児童の結果をみると、国語・算数の2教科ともに、全国平均を上回りました。子どもたちの学力の積み上げが確実にできつつあるように感じます。また、無回答率も少なく、児童が問題に真剣に向き合い、最後まであきらめないで取り組もうとする姿勢が育まれつつあります。

### 国語科より

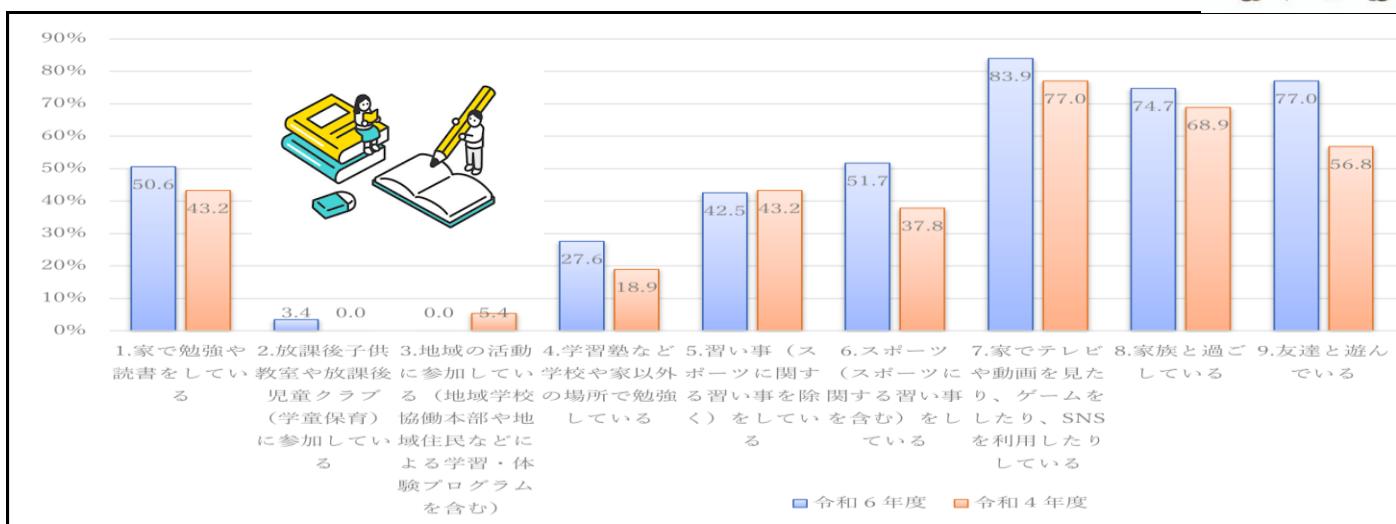
- ・全体的に平均を上回りよくできています。
- ・物語の心情の読みとり問題では、正答率が高く、心に残ったところとその理由を60字以上100字以内で書くこともよくできていました。
- ・「情報の扱い方に関する事項」や「話すこと・聞くこと」「話し方の工夫」に関する問題では、安定した力が見られました。
- ・漢字を文の中で正しく使うこと等（きょうぎを競技と書く問題など）に課題がありました。
- ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることには弱さが見られました。

### 算数科より

- ・全ての領域・観点で、全国平均を上回り、全体的によくできています。
- ・特に、問題の言葉の意味を理解し、示された数から必要な数を読み取る問題等、「データの活用」の問題で力を発揮しました。
- ・直径22cmのボールが入る立方体の形をした箱の体積を求める問題や図を使って考える速さの問題でも高い正答率でした。
- ・桜の開花予想日の求め方について、様々なグラフ・表などの数値や図を基に考える問題では、正答率が低い結果となりました。

## 【児童質問紙調査から】

放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか（複数選択）：本校児童



上記のグラフから、「放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか（複数選択）」という設問に対して、約50%の児童が家で勉強や読書をしていると回答しています。また、スポーツをしたり、友達と遊んだりしていると回答している児童も増えています。これからも、放課後や週末の過ごし方を充実させていくとともに、家庭での学習習慣を大切にした取組を今後も継続していきたいと思います。

## 【全体を通した本校の成果と課題】

本校では、「自ら　かかわり　学び　ともに高め合う　桃山東の子」という学校教育目標のもと、保護者や地域の皆さまのご協力を得て、取組を進めています。

この学校教育目標は、「自分から・自ら・進んで」をキーワードに、子どもたちの主体的な思いに基づいた授業や取組を大切にし、より人間らしい「生きる力」である「主体性」を核にして教育活動を進め、次のような子どもの育成を目指そうと設定しました。



- ・友達、周りの人、社会、環境、情報など自分の周りにある全てのものに、自らかかわりをもつことを通して、気づきや考えをもち、その考え方から問い合わせをつくり、解決しようとする子ども。
- ・子どもたちが自分も相手も大切にしたいと思う気持ちや、自分の問い合わせや考え方を伝え合いたいと思う気持ちを大事にして協働的な学びを進め、子どもたちがお互いに「伝えたい、話し合いたい、聞いてみたい、やってみたい」等のように、「○○したい」と思うことができる子ども
- ・仲間といふからこそ新たな気づき、考え方をもとに学びの質を高め合い、仲間といふからこそさらに新たな視点をもとに学びを生み出しあうことを、みんなで実感できるような子ども。



これらの子どもの育成は、学校だけでなく、あらゆる場をフィールドとしてとらえ、幅広く「学び」につなげていくことがとても重要です。子どもたちは、質問紙調査で、「授業で学んだことを次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができますか」という質問に対して、75%以上の子どもたちが「あてはまる（「どちらかといえば、あてはまる」を含む）」と回答していました。

めあてをもって学習を進め、自ら振り返りをすることは、学習をする上でとても大切なことです。見通しをもって学習する力は、自己調整能力・計画性等の向上につながり、「主体性」「自ら学ぶ力」となっていきます。学校では、自分の考えを明確にし、友達との交流を通して学びをさらに広げたり深めたりすることを大切にしています。また、自ら学ぶことの楽しさや面白さを経験する活動を通して、「学び方」や「ものの考え方」を育てる取組を行っています。学習によっては、すぐに役立つものもあれば、大人になってから思い出すものもあります。

今後も、学校全体の教育活動の中で、子どもたち一人ひとりが考え、悩みながらも互いのよさを見出すことで、自分や他者が共感できる目標を共に探り、その目標に向かって行動する学びを開拓していくたいです。そして、子どもたちが将来展望をもち、自分の可能性をより広げていけるよう働きかけていきたいと思います。

## 【保護者の皆さんへ】



全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性をさらに伸ばしたり、課題を解決したりしていくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものではありません。学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していきます。また、基本的な生活習慣や日々の学習習慣が、学力の基盤となります。今後とも、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力ををお願いいたします。質問紙の内容については、後日、また改めてポイントをお伝えしようと思います。